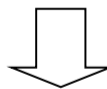
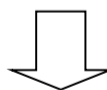


科目(ソーシャルデザイン分野)			研究指導			
一般教養科目	専門科目		主指導教員	副指導教員		
	必修科目	選択科目(下記の科目群から選択)				
M1 前期  M1 後期  M2 前期  M2 後期	情報工学研究1  情報工学研究2 情報工学特別講義1	自然言語処理特論 知的財産法特論 映像メディア処理特論 最適化理論特論 離散最適化特論	指導・副指導教員の決定 研究テーマの決定 ↓ 研究主指導      助言			
		情報セキュリティ特論 通信工学特論 光通信工学特論 安全および信頼性工学特論 ネットワーク化制御工学特論 非線形ダイナミカルシステム特論 複雑ネットワーク特論 並列コンピューティング特論			↓ 修士論文中間審査	
		情報工学研究3  情報工学研究4 情報工学特別講義2	応用計算工学特論 人工知能特論 データ解析特論 時系列解析特論 情報工学特論 情報理論特論 無線通信工学特論	↓ 学会発表		
						↓ 修士論文の作成 修士論文発表 本審査及び最終試験
	<b>【修了要件】</b> 修士課程においては、情報工学専攻所定の期間在学し、情報工学に携わる研究者、技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、研究課題を自ら発見し、解決する能力を持った人材を育成するために編成された授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ修士の学位論文又は特定研究の成果の審査並びに試験に合格した学生に対して修了を認定し、修士の学位を授与する。					



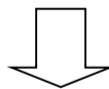
<b>【修了後の進路】</b> 自動車、重電機、製鉄、通信機、家電・電子機器メーカーなど(設計、開発、研究、生産技術などの職種) 情報通信、ソフトウェア、鉄道、電力、ガス、シンクタンク、総合研究所など(主に情報系職種) 国家公務員、地方公務員
--

科目(ソフトウェアデザイン分野)		研究指導			
一般教養科目	専門科目		主指導教員	副指導教員	
	必修科目	選択科目(下記の科目群から選択)			
M1 前期  M1 後期  M2 前期  M2 後期	<教養(共通)> 生物科学特論 現代物理学特論 物理学から見る理学の世界1 物理学から見る理学の世界2 物理学から見る理学の最前線1 物理学から見る理学の最前線2 物理学から見る理学の未来1 物理学から見る理学の未来2 倫理学対話 現代東アジア特論 応用言語学特論 英語圏文学・文化演習 表現文化特論 総合芸術学演習 国際政治特論 社会病理特論 ダイバーシティ社会論演習 知財戦略特論 知的財産特論 イノベーション・チーム・ラボ キャリアデザイン考究 実践的リーダーシップを学ぶ Basic Discussion and Presentation 1 Basic Discussion and Presentation 2 Discussion and Presentation 1 Discussion and Presentation 2 技術英語表現法概論 技術英語表現法演習 学術英語演習 科学技術研究の倫理 科学技術社会特論 計算機設計特論 プロセッサアーキテクチャ特論 ウォーターサイエンス特論 Materials Science and Technology Overview A:Metals Materials Science and Technology Overview B:Inorganic Materials Materials Science and Technology Overview C:Polymer Materials Materials Science and Technology Overview D:Composite Materials 医療倫理	情報工学研究1  情報工学研究2 情報工学特別講義1  情報工学研究3  情報工学研究4 情報工学特別講義2	自然言語処理特論 知的財産法特論 映像メディア処理特論 最適化理論特論 離散最適化特論 情報セキュリティ特論 通信工学特論 光通信工学特論 安全および信頼性工学特論 ネットワーク化制御工学特論 非線形ダイナミカルシステム特論 複雑ネットワーク特論 並列コンピューティング特論 応用計算工学特論 人工知能特論 データ解析特論 時系列解析特論 情報工学特論 情報理論特論 無線通信工学特論	指導・副指導教員の決定 研究テーマの決定 ↓ 研究主指導      助言 ↓ 修士論文中間審査 ↓ 学会発表 ↓ 修士論文の作成 修士論文発表 本審査及び最終試験	
	<b>【修了要件】</b> 修士課程においては、情報工学専攻所定の期間在学し、情報工学に携わる研究者、技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、研究課題を自ら発見し、解決する能力を持った人材を育成するために編成された授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ修士の学位論文又は特定研究の成果の審査並びに試験に合格した学生に対して修了を認定し、修士の学位を授与する。				



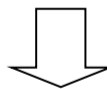
<b>【修了後の進路】</b> 自動車、重電機、製鉄、通信機、家電・電子機器メーカーなど(設計、開発、研究、生産技術などの職種) 情報通信、ソフトウェア、鉄道、電力、ガス、シンクタンク、総合研究所など(主に情報系職種) 国家公務員、地方公務員
--

科目(インテリジェントシステム分野)			研究指導	
一般教養科目	専門科目		主指導教員	副指導教員
	必修科目	選択科目(下記の科目群から選択)		
M1 前期  M1 後期  M2 前期  M2 後期	情報工学研究1  情報工学研究2 情報工学特別講義1	自然言語処理特論 知的財産法特論 映像メディア処理特論 最適化理論特論 離散最適化特論	指導・副指導教員の決定 研究テーマの決定 ↓ 研究主指導      助言	
		情報セキュリティ特論 通信工学特論 光通信工学特論 安全および信頼性工学特論 ネットワーク化制御工学特論 非線形ダイナミカルシステム特論 複雑ネットワーク特論 並列コンピューティング特論		
		情報工学研究3  情報工学研究4 情報工学特別講義2	応用計算工学特論 人工知能特論 データ解析特論 時系列解析特論 情報工学特論	
			情報理論特論 無線通信工学特論	
	【修了要件】 修士課程においては、情報工学専攻所定の期間在学し、情報工学に携わる研究者、技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、研究課題を自ら発見し、解決する能力を持った人材を育成するために編成された授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ修士の学位論文又は特定研究の成果の審査並びに試験に合格した学生に対して修了を認定し、修士の学位を授与する。			



<b>【修了後の進路】</b> 自動車、重電機、製鉄、通信機、家電・電子機器メーカーなど(設計、開発、研究、生産技術などの職種) 情報通信、ソフトウェア、鉄道、電力、ガス、シンクタンク、総合研究所など(主に情報系職種) 国家公務員、地方公務員
--

科目(データサイエンス分野)			研究指導	
一般教養科目	専門科目		主指導教員	副指導教員
	必修科目	選択科目(下記の科目群から選択)		
M1 前期  M1 後期  M2 前期  M2 後期	情報工学研究1  情報工学研究2 情報工学特別講義1	自然言語処理特論 知的財産法特論 映像メディア処理特論 最適化理論特論 離散最適化特論 情報セキュリティ特論 通信工学特論 光通信工学特論 安全および信頼性工学特論 ネットワーク化制御工学特論 非線形ダイナミカルシステム特論 複雑ネットワーク特論 並列コンピューティング特論	指導・副指導教員の決定 研究テーマの決定 ↓ 研究主指導      助言 ↓ 修士論文中間審査 ↓ 学会発表 ↓ 修士論文の作成 修士論文発表 本審査及び最終試験	
	情報工学研究3  情報工学研究4 情報工学特別講義2	応用計算工学特論 人工知能特論 データ解析特論 時系列解析特論 情報工学特論 情報理論特論 無線通信工学特論		
	<教養(共通)> 生物科学特論 現代物理学特論 物理学から見る理学の世界1 物理学から見る理学の世界2 物理学から見る理学の最前線1 物理学から見る理学の最前線2 物理学から見る理学の未来1 物理学から見る理学の未来2 倫理学対話 現代東アジア特論 応用言語学特論 英語圏文学・文化演習 表現文化特論 総合芸術学演習 国際政治特論 社会病理特論 ダイバーシティ社会論演習 知財戦略特論 知的財産特論 イノベーション・チーム・ラボ キャリアデザイン考究 実践的リーダーシップを学ぶ Basic Discussion and Presentation 1 Basic Discussion and Presentation 2 Discussion and Presentation 1 Discussion and Presentation 2 技術英語表現法概論 技術英語表現法演習 学術英語演習 科学技術研究の倫理 科学技術社会特論 計算機設計特論 プロセッサアーキテクチャ特論 ウォーターサイエンス特論 Materials Science and Technology Overview A:Metals Materials Science and Technology Overview B:Inorganic Materials Materials Science and Technology Overview C:Polymer Materials Materials Science and Technology Overview D:Composite Materials 医療倫理			
	【修了要件】	修士課程においては、情報工学専攻所定の期間在学し、情報工学に携わる研究者、技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、研究課題を自ら発見し、解決する能力を持った人材を育成するために編成された授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ修士の学位論文又は特定研究の成果の審査並びに試験に合格した学生に対して修了を認定し、修士の学位を授与する。		



<b>【修了後の進路】</b> 自動車、重電機、製鉄、通信機、家電・電子機器メーカーなど(設計、開発、研究、生産技術などの職種) 情報通信、ソフトウェア、鉄道、電力、ガス、シンクタンク、総合研究所など(主に情報系職種) 国家公務員、地方公務員
--